

第4回 (SADI 阿蘇、1996)

ホスト：山本 進 (鹿大・医)・中尾昌弘 (佐賀県衛研)

会 場：熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧「阿蘇町農村環境改善センター」

< 1 日目 > 8 月 2 3 日 (金)

オリエンテーション ホスト

故山口昇先生を偲ぶ黙祷 寿子夫人

一般演題

矢野泰弘 (福井医大)	ジョージアにマダニを追う
角田浩之ら (九大・農)	マダニ科 <i>Metastricata</i> と <i>Prostricata</i> の雌性生殖器官に関する比較研究
伊東拓也 (道衛研)	ドライアイスを用いたマダニ類の誘引
高島郁男 (北大・獣) ら	北海道におけるダニ脳炎患者の発生と疫学調査
溝口二郎 (山形県衛研)	山形県におけるマダニ刺症の疫学的背景
藤田博己 (大原研)	日本の野兔病におけるマダニ媒介症例の概観
山本 進 (鹿大・医) ら	鹿児島県のマダニ類における微生物検出状況
坪井義昌 (予研) ら	アフリカの紅斑熱群リケッチア症 (輸入症例)
増澤俊幸 (静岡県大・薬) ら	本邦患者由来Q熱コクシエラの遺伝学的性状
山本憲司 (長大・医)	コナヒョウヒダニ虫体における major allergen (Der fl, Der fII) の局在 - 蛍光抗体法、免疫電顕法による検討 -
森田慎一 (鹿児島県工技セ)	ヤクスギ材に含まれる抗ダニ活性成分
高田伸弘 (福井医大) ら	中国におけるダニと疾患のインターフェースの概況

< 2 日目 > 8 月 2 4 日 (土)

疫学ツアー

バスにて、九重山牧戸峠にて捕鼠と **flagging**、長者原、阿蘇外輪山の見学。

夜は、会場隣の共済会館で立食パーティ。

ゲスト講演 李 漢一：韓国におけるツツガムシ病の疫学的特性

円卓討議：九州のツツガムシ病

基調講演 1. 橘 宣祥（大分県衛研）：西日本のリケッチア症

基調講演 2. 寺崎 健（寺崎医院）：つつが虫病と皮膚病四方山話

発言 1. 野田伸一（鹿大・医）：鹿児島県のツツガムシ病流行地での
ツルグレン法による恙虫採取

発言 2. 丹下宣紀（愛媛大・医）ら：四国におけるつつが虫病，九州
地方との比較

発言 3. 粕谷志郎（岐阜大・医）：九州地方と岐阜地方の恙虫病の類
似点，ベクターとリケッチア株

一般演題

高橋健一ら（道衛研） 北海道におけるツツガムシ相とツツガムシ
病に関する疫学的検討

藤曲正澄（千葉県衛研） 記号放逐法により求めたアカネズミのホー
ムレンジとツツガムシの寄生状況

中嶋智子ら（京都府保環） 京都府におけるツツガムシ病について

高田伸弘ら（福井医大） 石川県小松地方のツツガムシ病について

玉置幸子（玉置病院）ら 和歌山県紀南地方のつつが虫病と紅斑熱

溝口二郎（山形県衛研）ら ツツガムシ病疫学調査「ベクターと環境因
子」

< 3日目 > 8月25日（日）

一般演題

福原正博ら（新潟薬大） 宿主 RAW 細胞内における *Orientia tsutsu-*
gamushi の強毒株及び弱毒株の増殖の差異
と NO 産生量との関係について

石倉康宏ら（富山県衛研） 富山県内に流行しているつつが虫病リケッ
チアの型別

片山 丘ら（神奈川県衛研） PCR により確認された恙虫病患者について

古屋由美子（神奈川県衛研） PCR による紅斑熱群リケッチア DNA の解析

石倉康宏（富山県衛研）ら マダニから分離した紅斑熱群リケッチアの
PCR による分類の試み

雪竹基弘（佐賀医大）ら 抗 *Borrelia garinii* 抗体陽性の neurobor-
reliosis（Lyme 病）の一例

石畝 史（福井県衛研）ら 渡り鳥寄生マダニにみられたライム病ボレ
リア

増沢俊幸ら（静岡県大・薬） ライム病ボレリア遺伝種と媒介マダニ種の
関連について

全体会議 組織委員会：前回（大滝ホスト）の寄付金からの剰余が託される
ことになり、このような資金は一切、年ごとのホス
トに順送りと決定した。運用はホストの裁量で、決
算も要しない。